

館報

おみ

10月号
No.679

2023.10.25 (令和5年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲世代間交流の新しい一歩へ～5年ぶりの村民運動会～ (10月22日撮影) 関連記事は2・3面

村民運動会 五年ぶりに開催

十月二十二日麻績村総合運動場において、五年ぶりに村民運動会が行われ、秋晴れの空のもとおよそ三〇〇人が楽しく身体を動かしました。

復活!! 村民運動会

「近年は、新型コロナウイルス拡大回避のため、運動会をはじめとする様々な行事を開催することができず残念でした。今年は今和初の運動会となりますが、準備運動をしつかりしてけがをしなないように気をつけながら、五年ぶりに開催する運動会を楽しんでほしい」との言葉がありました。

今年、麻績村は松本山雅とのホームタウン契約を結び、当日は「ガチャさん」こと、松本山雅の片山真人さんとガンズくんをお招き



▲けがなく運動会を楽しんで



▲準備体操を入念に

して、準備体操、MC、子どもたち対象の「山雅ハーフトタイムショー（キックターゲット）」など、運動会を盛り上げていただきました。

今年、玉入れ・借りもの競争・運が良ければ・山

雅ハーフトタイムショー・団体別リレー・番場節の全六種目と大幅に例年の種目を見直しました。

「団体別リレー」には、村内の団体や地区と当日飛び入り参加もあり、全十六チームが出場。思い思いのコースチュームやバトンで趣向を凝らし、輪投げや三輪車走では思うようにいかず苦戦したチームもあったようですが、笑顔いっぱい競技となりました。

最後の「番場節」は、市野川地区の聖民芸保存会の皆さんを中心に、大きな円になって踊りました。

安協麻績支部の皆さんや、分館長・分館主事の皆さんのご協力により、事故やけががなく開催できたことに感謝申し上げます。また、運動会に参加していただいた皆さん、ご参加ありがとうございました。



令和5年度 村民運動会プログラム

- ① 玉入れ
- ② 借りもの競争
- ③ 運が良ければ
- ④ 山雅ハーフトタイムショー
- ⑤ 団体別リレー
- ⑥ 番場節



▲「運が良ければ」長いひもも引ける！



▲壮絶なデッドヒートを繰り広げた「借りもの競争」



▲意外と難しい「玉入れ」



▶希望者参加による山雅
「ハーフトゥームシュー」お
菓子拾いと「キックタ
ーゲット」



▲コロナ前の賑わいほどではありませんでしたが各地区から多くの皆さんが参加してくださいました



▲運動会の最後を飾る「番場節」



▼▲記録より記憶に「団体別リレー」



▲特別賞表彰（叶里高畑分館）

村民運動会特別賞

●晴々賞

中芝・小東分館

●ハッスル賞

丸山分館

●努力賞

叶里高畑分館

●団体別リレーユニーク賞

おみ図書館

下井堀青年団

麻績小筑北中連合B



九月末、機
会があつて、
令和元年十月
十三日に発生
した東日本台
風災害で甚大
な被害を受け

た長野市長沼地区に研修に
行った。内容は、被災後の
社会教育活動について学ぶ
というものであつた。

当時決壊した堤防のすぐ
近くにあつた交流センター
は失われ、現在は仮設建物
による運営をしている場所
から、担当の方に案内をし
ていただき、水害を受けた
様々な場所を巡つた。長沼
地区の住宅被害は、九三九
棟という凄まじい数であり、
地域を去つた住民も多くい
たという。ただし、多くの
方が地域に残る決断をした。
その理由の一番は、地域の
繋がりがだったという。隣近
所等との長年にわたり作り
上げてきたコミュニティは
そう簡単には崩れないと感
じた研修であつた。
「人は、人を浴びて人にな
る」児童精神科医の夏莉郁
子氏の言葉を思い出した。

第二十五回 村民ゴルフ大会

十月一日南長野ゴルフクラブにおいて村民ゴルフ大会が行われました。

集合した早朝のグリーンは、霧雨が降って朝靄で周りが見えないほどでした。開会式が終わった頃から雨が上がり、少しずつ晴れ間ものぞいてきました。

昨年は、前半九ホールストロークプレーでしたが、今年は一八ホールストロークプレーでの大会となり、エントリーした三〇名のゴルフアーが颯爽とスタートしました。

思い描いたイメージ通りにグリーンを捉えたナイス



▲よく狙ってアプローチ

ショットや、惜しいショットなど、各組で一喜一憂しながらの和気あいあいとした大会となり、初めて参加された方から「村の方と一緒にプレーする機会がなかったの、村民ゴルフ大会は交流できる良い機会になった。来年もまた参加したいと思う。」との声が聞かれました。

結果は、次の通りです。

優勝

宮川 和平 (宮本)

準優勝

峯村登志夫 (下井堀)

三位

宮川 暢裕 (宮本)

レディー受賞

刈間きよ子 (上町)

ベストグロス賞

峯村 尚 (下井堀)

麻績保育園 人権擁護教室

十月十七日に麻績保育園において人権擁護教室が行われました。

人権擁護委員の皆さんに紙芝居を使って、人権についてわかりやすくお話していただきました。お話は、



▲人にやさしい社会になるといいね

流行性の感染症にかかってしまったお友達が悲しい目にあっているという内容のものでした。園児たちは紙芝居に見入っていました。

また、人権のイメージキャラクターの「人KENあゆみちゃん」が遊びに来てくれました。あゆみちゃんは、人権が尊重される社会の実現に向けて、全国各地で啓発活動に活躍しています。あゆみちゃんが登場すると大盛り上がりでした。最後にお友達と仲良くすること、困っている友達には優しくすることを約束しました。

おみっこミュージック フェスティバル

十月十八日におみっこミュージックフェスティバルが筑北中学校を会場に開催されました。

今年度から保育園、小学校、中学校の合同での開催となりました。これは村で進めている一貫教育における具体的な取り組みの一つとなります。

麻績小学校二年生による合唱では、担任のギター伴奏に合わせて大きな声で歌い会場を盛り上げました。保育園の発表では軽快な音楽に合わせてダンスを披露



▲ギター伴奏で歌った小学二年生

しました。また中学生は混声合唱を見事に歌い上げ、各年齢に合わせた発表構成となっていました。発表が終わるごとに大きな拍手が送られていました。



▲元気な歌声を披露した保育園児



▲中学生さすがのハーモニーを披露

麻績小学校

三年生社会見学

三年生は、十月十三日に松本方面へ社会見学に行ってきました。信州ビバレッジ、サンプルアルウィン、松本城の三カ所を見学しました。

信州ビバレッジでは、ジュースやお茶などの製造過程を見学してきました。あいにく、機械点検の日と重なってしま

元気通信!!

～今月の小・中学校～

い、実際に機械が動いている様子を見ることができませんでした。動画を見たり工場の方のお話を聞くことにより学習を深めることができました。サンプルアルウィンは、今年麻績村がホー

ムタウンになった松本山雅の試合が行われているスタジアムです。歴代のユニフォームを見たり、実際に選手が使っている控え室を見たりしてきました。さらにピッチで芝生を触らせていただくことができ、選手の目線で見学をすることができました。

松本城では、天守閣の中に入り見学をしました。敵が攻めてきたときに中から攻撃するための「狭間」や「石落とし」を見たり、急な階段を上って最上階まで行き、そこから外の景色を眺めたりしました。



▲たくさん見学できたよ

の印字の説明を聞いた時、(賞味期限などの文字を印字する) インクをすごい速さでペットボトルに飛ばしてつけていることを知った驚きや、松本城の外観は五階に見えるが実際は六階であることを知った驚きなど、社会見学からの学びが伝わった感想が多く出されました。

筑北中学校

筑北祭感想

一年 渡辺 遥陽

私は筑北祭でいろいろな初めてを経験しました。筑北祭前の準備では、一年生の発表のグループで全校の皆さんに伝わるように一生懸命考えて練習しました。そして当日、ハプニングもありながら全員の協力で最高の発表になって良かったです。

運動会では、委員会対抗とクラス対抗で種目をやりました。委員会対抗では普段話せない先輩と協力し、楽しめたのでよかったです。クラス対抗では大縄跳びをしました。クラスのみんな

の仲良い絆で本気で挑めました。頑張った結果三位でしたが、クラスのみならず一生懸命取り組めたので良かったです。そして前々から練習してきたソーランでは練習した成果が出せたので良かったです。

この二日間楽しいことや悔しいことがあったけど何より本気で楽しめたので良かったです。来年は二年生として頑張りたいです。

筑北祭で頑張ったこと

二年 花岡 優季

今年の筑北祭で、僕は学年での発表を特に頑張りました。

僕たち二学年は総合的な



▲伝統の筑中ソーラン

学習の時間に麻績村の郷土食について学び、そのことを劇を交えて発表しました。僕は、人前に立って劇をすることがあまり好きではありませんでしたが挑戦してみようと思いい、劇をするこ

とになりました。発表練習も初めは少し恥ずかしい気持ちもありましたが、本番ではその気持ち「思いきりやろう」という気持ちになって発表も成功し、本当に良い経験をすることができました。

革新の筑北祭

三年 高澤 楓香

今年の筑北祭は、「テーマ「革新」新しい時代を切り拓け」に向け、先輩方の筑北祭に加え、新しいものを創ろうと全員で成功に向け、取り組んできました。そして一人一人の努力は最高の筑北祭につながりました。

三年生の最後の筑北祭となる姿から一、二年生がなにか得るものがあったなら、それこそが「革新」と言えると思います。

オンドルの館

(No.311)

館の主は

筑北村坂井の安坂將軍塚古墳は積石塚で、古墳時代中期四五〇年頃の築造とされ、朝鮮半島系の首長の墓と推察されている。

平安時代の史書「日本後期」延暦十六(七七七)年の項に「信濃国人外従八位前部綱麻呂賜姓安坂」と記されている。朝鮮半島からの渡来人の前部綱麻呂が「安坂」という姓を賜って帰化(日本の国籍を得る)したという意味である。

この時代地名を姓として名乗ることは間々あり、「綱麻呂」の住居比定地は、積石塚古墳に隣接する「安坂村」の説が有力である。この安坂氏は、積石塚に葬られた被葬者の末裔と推察されていた。

野口遺跡が発掘された館は二軒であった。そしてこのうち一軒は、朝鮮半島で多く使われる床暖房(オン

ドル)が完備されていた。野口遺跡の発掘によって延暦十六年史料の確証が得られた偉大な成果であった。

館の主は「積石塚古墳の首長」や「安坂氏」にかかわる渡来系氏族であったと推察され、五〇〇年以上にわたって麻績郷に住み続けたのである。

野口村について

野口村は、縄文後期(紀元前二〇〇〇年)人々が住み始める。六世紀頃砂原に円墳で横穴式石室をもつ後期古墳が造られる。奈良時代霊亀元(七一五)年八カ条(村)の麻績郷が成立したと推考される。前記延暦十六年に「安坂」が見え、「野口村」があったとも考えられる。

御厨が始まったのが、永承三(一〇四八)年であるので、この頃に村が成立していたともいわれている。建久四(一一九三)年の伊勢神宮書上帳「神鳳鈔」に「内宮麻績御厨八カ条」とあり、この条に「野口村」

があった。中世の安土桃山時代天正九(一五八一)年に、伊勢の御師が記した「志なのの国道者之御抜くば里日記」に「の口分・のくち一之丞殿のし五十本・帯・茶十袋」とある。

翌天正十(一五八二)年青柳頼長が青柳加賀守(新吉)に発給した文書に「女淵之内参貫之所出置候者也仍如件」がある。中世野口村(現在の野口・砂原・女淵地区)は、青柳城の北を固める軍用道路・砦・出城等があり、要衝であった。

明治八(一八七五)年の合併で麻績村となる。村の規模は、四賀村(現在の松本市四賀)青木家文書によると、正徳四(一七一四)年の家数二十七戸・人数二〇三人・馬十三頭で、天保十五(一八四四)年家数五十八戸・人数二六九人とあり、大きな伸びを示している。これは川沿いの農地の開発のよるものと推察される。

ちなみに、令和五年四月一日現在の世帯数は五十三世帯(女淵・砂原二十四、

野口二十九)である。

おわりに

野口遺跡におけるオンドル遺構の発掘によって、古墳時代中期四五〇年から平安時代九五〇年の五〇〇年余りに及ぶ高句麗人と推考される渡来系氏族が、麻績盆地に館を構えていたことが明らかとなり、様々な形で外来文化をもたらした。

遺跡の発掘調査は、三十八年前の長野自動車道敷地部分を中心に二箇所であり、遺跡のごく一部分と推考される。

北に雄大な聖山を眺望し、古代官道が通り、安坂川が流れる四阿屋山の麓に、大きな集落が存在したと考えられる。

この発掘によって、前に記した平安時代初頭の延暦十六年史料にある安坂の姓を賜った「前部綱麻呂」の居住比定地が、旧安坂村であるとの確証となり、日本の考古学史上に大きな成果をもたらした。

引用・参考文献(順不同)

麻績村誌・坂井村誌・信濃史学会誌「信濃」・長野県史蹟名勝天然記念物調査報告書・信濃毎日新聞・(財)長野県埋蔵文化財センター調査速報「野口遺跡」・麻績神明宮神社誌・長野県地名大辞典・広辞苑・館報おみ・農協広報ちくほく・村勢要覧二〇〇六・麻績村六十年の軌跡

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲歴史口マン溢れる大発見であった

本の森だより

おみ館
図書

ハロウィンお話会 開催

お話の会「はらぺこあおむし」によるハロウィンお話会が開催され、乳幼児の親子さん、麻績保育園のすずらん組のみなさんが参加しました。



▲魔女が一人ひとりに「こんにちは」

を見せてくれました。次は大型絵本「おぼけのバーバパパ」の読みがたり。おぼけがこんどは何に変わっていくのだろうか、食いつめるように本を見つめていました。

お話の途中、会場に魔女が現れ、子どもたちと触れ合いながらお話が進んでいきました。心優しい魔女は全員と握手し、みんなが安心したところで、おぼけのパープサートへと舞台は移ります。リズムカルな音楽とともにカラフルな五人のおぼけが登場し、会場からは笑い声が上がりました。絵本「おおきなかぼちゃ」は、次から次にたくさんのお話のあとその順番をたずねられた子どもたちみごとに間違えることなく答えて、大人たちが舌を巻く一幕もありました。

村民運動会

お話の主人公でアピール

抜けるような青空と秋色を装った聖山をバックに、五年ぶりとなる村民運動会が開催され、おみ図書館チームは恒例の団体別リレーに参加しました。

ひさしぶりの開催とあって衣装準備にも力が入ります。今回はチーム名のたすきを新調して、さらにアピールに努めました。

それぞれが物語の登場人物になりきって、第一走者・雪の女王エルサから第五走者・赤ずきんちゃんまで、順位を気にすることなく、走り抜けました。



▲「カウンターにもこの衣装で」とのご提案も。検討中です

しました。物語の世界をアピールできたと確信しています。

麻績小学校図書館だより

読書の時間に、自然や風習について触れることもあります。今回は、ちょうど中秋の名月が近かったため、お月見の話をしました。

もとは中国の風習で、日本へは平安時代に伝わり、貴族が月を眺めて和歌を詠んでいたそうですが、家庭でお供え物をするようになったのは江戸時代になってからのようです。

そしてお供えの定番と言えはお月見団子！ 十五夜には十五個、十三夜には十三個、山型にしてお供えして、豊作への感謝と祈りの



▲お供えのお団子、ありがたくいただきました

気持ちを表します。魔除けの効果があると言われるススキも欠かせません。調べてみて、十三夜という風習があることを初めて知りました。皆さんのお家のお月見はどんな感じでしたか？

アンケート実施中 ご協力をお願いします

おみ図書館は二〇二四年に二十周年を迎えます。図書館の今後のあり方を明確にするため、村民のみなさんへのアンケートを実施中です。

アンケート用紙は、先月の公民館報とともにご家庭にお届けしました。また、図書館内でも配付しています。

締め切りは十一月末。回収ポストは、麻績村役場・聖高原駅かりん文庫・地域交流センター・おみ図書館にありますので、ご投函ください。

ご協力、よろしくお願いたします。

みんなで そだてる 10月のおみ図書館

9月貸し出し数	
貸出冊数一般	853冊
貸出冊数児童	1228冊
来館者数一般	405人
来館者数児童	1072人



ソフトバレー交流会
参加者募集

「ゆる〜く楽しむソフトバレー交流会」を開催します。

ソフトバレーは、四人制でバドミントンコートの大さきを使用し、ゴム製の柔らかいボールで行う競技です。バレーボールの経験がなくても大丈夫。楽しく体を動かしたい方はお気軽にご参加ください。

参加対象者は、「麻績村・筑北村に住んでいる方、もしくは勤務されている方で中学生以上の方」が対象です。

日時

十一月二十五日(日)
午後七時〜午後十時

場所

麻績村体育館

参加方法

事前の申し込みは不要。当日運動のできる服装で、上履き・タオル・飲み物を持参のうえ会場へ直接お越しください。

主催

麻績村ソフトバレー連盟
〈お問い合わせ〉

麻績村公民館

☎六七〇二二四〇

ツキノワグマの生態を知る

第六回麻績学級

十月十九日第六回麻績学級が地域交流センターで開催されました。

今回は信州大学出前講座を活用し「ツキノワグマを知ろう」と題して、信州大学山岳科学研究拠点助教瀧井暁子先生をお迎えし、ツキノワグマの生態等についてお話を伺いました。瀧井先生は、野生生物保護管理学を研究分野として、ツキノワグマの冬眠生態やニホンジカの移動様式などの研究課題に取り組まれているとのこと、専門的な立場からの貴重なお話を伺うこ

とができました。

ツキノワグマは一九七八年以降日本での分布域は拡大傾向にあり、様々な地域で目撃の情報などがあります。また、信州大学動物生態学研究室データによると季節・食べ物で大きく変化しますが、長野県内で捕獲されたツキノワグマの平均体重データはオス六十六kgメス四十七kgだそうです。一頭が一年間に移動する範囲はメス二五km、オスは平均一四七kmにも及ぶと言えます。季節により場所を変えながら暮らしているそうです。

果、昨今のニュース等でも耳にする人身事故の発生に繋がっているとも考えられているそうです。

講演の際に、瀧井先生の研究材料でもあるツキノワグマの毛皮や糞の内容物、鋭い爪などの実物も持ってきていただいたため、受講された皆さんは興味深く見ていました。

今回の講座では、三十五名を越える参加者があり、多くの皆さんが関心を持っていると感じました。麻績学級では、年齢を問わず多くの皆さんに受講していただけるよう新しい講座内容を企画していきたいと思えます。



▲過去麻績で捕まった140kgのオス〜瀧井先生の資料より〜



▲実物を手に取る参加者の皆さん



▲保育園山雅サッカー教室 10月11日撮影

村のあこぎ

お誕生おめでとう



宮下 季大ちゃん
文夫・悠紀 (根尾)



田原隆太郎ちゃん
伸宏・尚子 (天王)

ご冥福を祈る

宮川 嘉巳 93歳 天野 王
桐山 まつ子 94歳 市野 川
関崎 周 100歳 桂
宮下 直子 92歳 本